

令和8年度研修マネジメント力協働開発プログラム(全国版) 実施要項

1 目的

「令和の日本型学校教育」を担う新たな教職員の学びの姿の実現に向けて、教職員支援機構では教育委員会等との協働による新たな研修の開発を進めている。本プログラムにおいても、全国的に広がりつつある「研修観の転換」を参加者と協働的に開発し、実践的なコミュニティを醸成していく。

また本プログラムでは、新たな教職員研修の在り方に関わるテーマを設定し、短期・中期・長期の研修ビジョンを描き教育実践につなげていく一連の構想力や、学び手の変化を意識し研修を推進するためのデザイン力の向上を目指す。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 期間 第1回 令和8年5月25日(月)～令和8年5月26日(火)
第2回 令和8年10月30日(金)
第3回 令和9年2月26日(金)

4 標準定員 120名

5 実施方法 リアルタイム・オンライン

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

7 参加者

(1) 参加資格

以下の者であって、今後、各地域において『教職員の学び(研修観)の転換及び協働展開』を図るうえで中核としての役割が期待される者

ア 都道府県・指定都市・中核市教育委員会及び教育センターの研修担当主事等、教職大学院関係者

イ 小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の研修主任等

(原則として、第1回～第3回の4日間を通して参加可能な者)

(2) 推薦人数

推薦する場合、以下のとおりとする。

各都道府県教育委員会においては2名程度とする。各指定都市教育委員会、各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学、教職大学院を置く各大学及び国立青少年教育振興機構においては1名程度とする。

ただし、教職員支援機構に職員を派遣している自治体については上限5名とする。

(3) 推薦手続き

推薦期限は、令和8年4月20日(月)とする。

推薦する機関においては、推薦する候補者を取りまとめて、「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整する。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に、推薦順位を入力すること。

8 研修内容

[別紙1]日程表のとおり

9 事前課題

参加者決定時に別途連絡する。

10 その他

- (1) 本プログラムでは、Web会議サービス「Zoomミーティング」((株)Zoomビデオコミュニケーションズ)を用いて同時双方向通信を行う。参加に当たっては、当該ソフトウェアのインストールや安定したインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Webカメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。
- (2) Web会議サービスへの参加方法等の詳細については、参加者決定時に別途連絡する。
- (3) 本プログラムでは、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Google アカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。
- (4) 本プログラムの参加に際し、特別な配慮が必要な者(障害、持病等)を推薦する場合には、事前に教職員支援機構に相談すること。
- (5) 第3回においては、「協働者」及び「聴講者」の参加を募集する。
 - ① 協働者の募集について(参加者が任意で1名まで推薦する)

同じ職場等で新たな教職員の学びに向け、参加者と共に取組を進めることを強く検討する者を「協働者」として推薦すること。協働者には参加者の実践構想発表だけでなく、発表後も参加者の支援者として実践を協働的に継続することが期待される。

② 聴講者の募集について

新たな教職員の学びを目指した実践に興味があり、第3回聴講後も自身の所属において実践者として取組を継続することを希望する者を「聴講者」として募集する。

※ 参加申込方法は第3回開始前に別途通知する。

「補足」 研修マネジメント力協働開発プログラム(地域版)との違い

1 地域版の目的

当機構（NITS）は、「研修観の転換」を通じて「令和の日本型学校教育」の実現を図るため、研修担当者が研修の在り方を問い続けることを支援し、その実践から得られた知見を共有・交流する、「学び合いの場」を創出している。これにより、研修担当者の教職員の学びに対する視野を広げ、持続的な研修の質の向上を図るとともに、このような「研修観の転換」に向けた「学び合いのコミュニティ」が、教職員研修を実施している各地の組織（教育センター、教職大学院、学校等）の中で形成され、つながることで、「学び合いのコミュニティ」が全国に広がっていくことを目指している。

「研修マネジメント力協働開発プログラム(地域版)」(「マネプロ(地域版)」)は、このような「学び合いのコミュニティ」の醸成や、それを通じた教職員研修の持続的な深まりに資するよう、各地域の研修担当者が「教職員の学び」の在り方を協働的に問い、考え合う機会を提供するものである。

2 地域版の実施期間

基本的に一日もしくは半日での単発実施（複数回行っても、連続での参加を強制していない）

3 地域版の参加者募集

各回で参加者を募集し、応募状況を踏まえて参加者数を調整し、参加決定者に対して決定通知を送付

4 地域版の実施方法

対面 もしくは リアルタイム・オンライン

令和8年度 研修マネジメント力協働開発プログラム(全国版) 日程表 ～ 「新たな教職員の学び」のコミュニティとその展開 ～

第1回1日目(令和8年5月25日開催)9:30～17:00

求められる「新たな教職員の学び」とその展開

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|----|-----------|----------------------|--|-------|------------------|-------|----------------------|--|-------|---|-------|-------------------------------|----------|
| 9:00 | | 9:30 | 9:45 | | 11:00 | 11:50 | 12:50 | 13:30 | | 15:50 | 16:30 | 17:00 | | |
| 5月25日 (月) | 受付 | イントロダクション | ホームセッション | | | 個人探究 | 昼休憩 | ホームセッション | | | 講義・ホームセッション | | 個人探究 | リフレ諸連絡シヨ |
| | | | 実践的自我介绍 教職員研修実践交流 | | | 求められる「新たな教職員の学び」 | | 「新たな教職員の学び」への提言を読み解く | | | 実践記録を通して 新たな教師の学びを探る 福井大学大学院 連合教職開発研究科 副研究科長 柳澤昌一 | | 記録を通して 研修の展開と デザインを読み解く | |

第1回2日目(令和8年5月26日開催)9:15～17:00

協働の学びの展開と実践コミュニティの発展

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|----|-----------|--|--|-------|--|--|--|------------|-------|--------------|-------|----------|
| 9:00 | | 9:15 | 9:30 | | 11:00 | 各グループで話し合い、1時間の昼休憩を設定する | | | 14:50 | 16:00 | 16:40 | 17:00 | |
| 5月26日 (火) | 受付 | イントロダクション | 個人探究・ホームセッション | | | ホームセッション・個人探究 | | | クロスセッション① | | ホームセッション | | リフレ諸連絡シヨ |
| | | | 職場における学習コミュニティを育成する7つの視点 福井大学大学院 連合教職開発研究科 副研究科長 柳澤昌一 | | | 「新たな教職員の学び」とそのコミュニティを培う 3つの構想メモ 教職員研修の展開と学習コミュニティの発展をめぐる短期、中期、長期のデザイン | | | 3つの構想メモの交流 | | 研修全体のリフレクション | | |

第2回(令和8年10月30日開催)13:00～17:00

「新たな教職員の学び」への取組のあゆみ:中間の共有と省察

| | | | | | | | | | | |
|---------------|----|-----------|------------------------------|--|-----------------------------|--|-------|----------------------|-------|----------|
| 12:45 | | 13:00 | 13:15 | | 14:00 | | 16:00 | 16:40 | 17:00 | |
| 10月30日 (金) | 受付 | イントロダクション | ホームセッション | | クロスセッション② | | | ホームセッション | | リフレ諸連絡シヨ |
| | | | 6月のセッションと その後の取組を ふり返る | | 「新たな教職員の学び」への 取組のあゆみと現段階 | | | セッションのふり 返りと今後の展望 | | |

※ いずれの回もZoomでのリアルタイム・オンライン形式で開催。

※ 日程表に示している開始終了時刻は固定。
その他の時刻及び内容については、協議の状況等を見て調整。

※ 昼休憩については1時間程度とし、その他適宜、休憩時間をとる。

※ 参加者の中から、「実践記録」の作成者を募る予定。

※ 全体を通じて、少人数でのグループ内対話を中心として展開。

第3回(令和9年2月26日開催)10:45～17:00

「新たな教職員の学びの実現」に向けた協働開発“過程”重視の交流会

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|----|-----------|------------|-------|-------|----------------------------|--|-------|----------------------|-------|----------|
| 10:30 | | 10:45 | 11:00 | | 12:00 | 13:00 | | 16:00 | 16:30 | 17:00 | |
| 2月26日 (金) | 受付 | イントロダクション | ホームセッション | | 昼休憩 | クロスセッション③ (+協働者・聴講者) | | | ホームセッション | | リフレ諸連絡シヨ |
| | | | 取組のふり返りと構想 | | | 実践構想発表 「これまでの経緯と来年度の構想」 | | | 構想のふり返りと その実現に向けて | | |
| | | | 協働者 聴講者 | | 受付 | 説明 | | | | | |
| | | | 12:30 | 12:45 | 13:00 | | | | | | |

※ 第3回は協働者・聴講者の参加を募集する。
(詳細は要項にて)

協働者・聴講者は、以下のような流れとなる予定。
12:30～12:45 受付
12:45～13:00 これまでの流れや参加の仕方などを説明
13:00～16:00 各グループの発表会に参加
16:00～ 当機構より挨拶